

ブロガーが金銭等を得るためにエントリー投稿を行う是非に関して

2007/6/28

宮崎晋一郎

自己紹介

宮崎晋一郎/Miyazaki Shinichiro

- 1983年8月6日生まれ。満23歳
- 2006年に大学卒業後、(株)インタースペース入社
- 現在まで平社員として日々の業務を行う。

取得資格

- 英検2級
- 普通自動車運転免許

概要

- 普段はアフィリエイトを売ったり、ブログ投稿型の広告を売ったりしてます。
-

ブロガーが金銭等を得るためにエントリー投稿を行う是非に関して

□ 基本的に「是」です。



ただいろいろと悩んでおります。

なぜ「是」なのか？

基本的にブロガー(一般消費者)が企業の販売促進活に積極的に参加することは歓迎すべきことだと考えています。

アフィリエイト、アドセンス、記事投稿等

もちろん売ってる手前もありますが...

現在社会で生きる限り企業の販売促進活動から自らを隔絶することは不可能だと考えるからです。その前提に立つのであれば積極的な関わり合いを持つことは特に非難されるべき行為ではないと考えます。

もちろん方法によりますが...

その根拠をテレビ広告を例に取って考えてみたいと思います。

テレビ広告を事例としてみた場合

主な登場人物

- ・消費者A
- ・広告主B
- ・テレビ番組C「トゥナイト3」

消費者A...毎週テレビ番組の「トゥナイト3」を楽しみにしている。

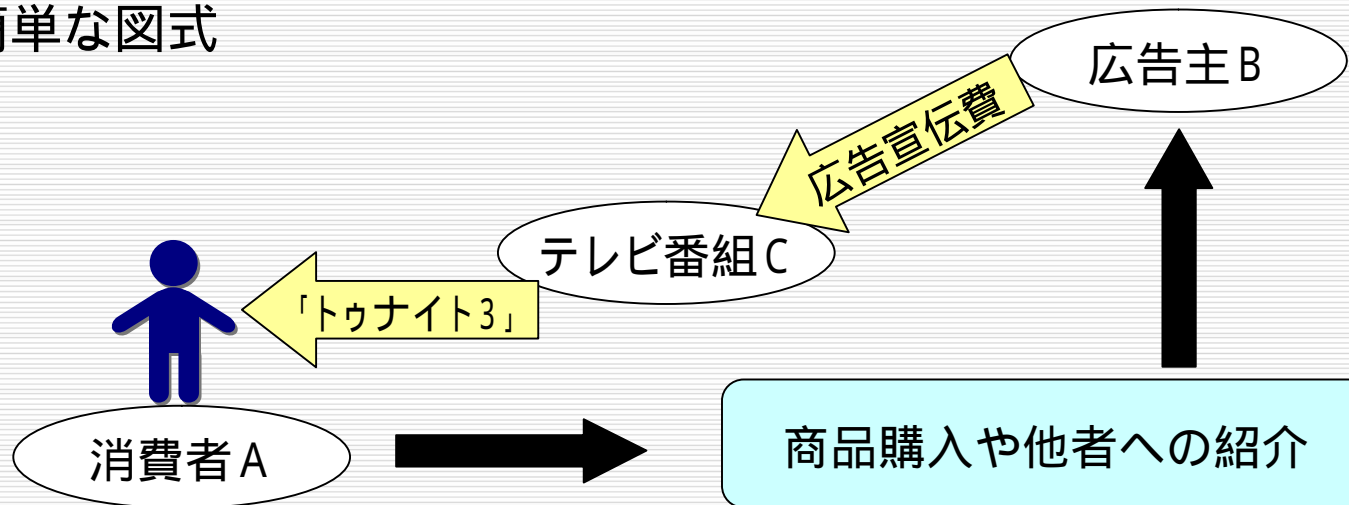
広告主B...新作ドリンク(商品単価:100円)の販売促進に、新作ドリンクの見込み売上10%をテレビ広告にあてることを決定。
便宜上単独スポンサーとする。

テレビ番組C...広告主Bの広告費を番組制作費および放映費として充当

テレビ業界にはほぼ無知なので上記のような単純な構図とさせていただきます。

テレビ広告を事例としてみた場合

簡単な図式



基本的に消費者はテレビ番組というコンテンツを無償提供される対価として企業の販売促進活動への参加という対価を支払っている。

仮に消費者Aがテレビ番組Cで広告主Bの商品を認知し購入した場合商品価格の10% = 10円をコンテンツ視聴料として支払っている。

ブロガーが金銭等を得るためにエントリー投稿を行う場合

主な登場人物

- ・消費者A
- ・広告主B
- ・消費者A運営ブログ

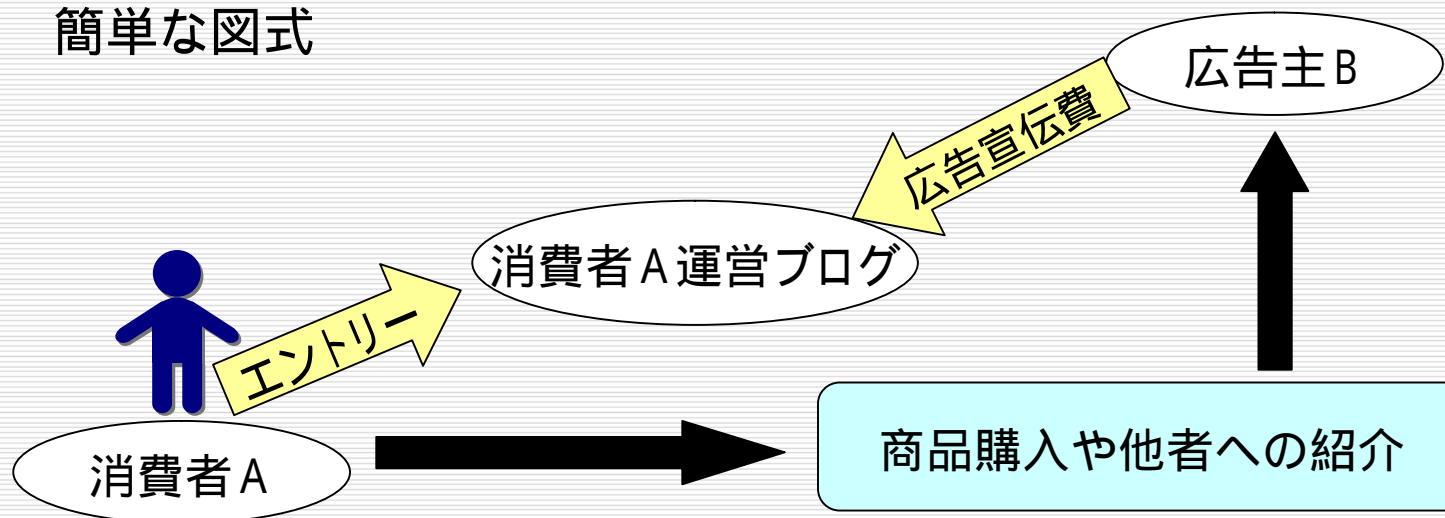
消費者A...毎日ブログのエントリーを更新する。

広告主B...新作ドリンク(商品単価:100円)の販売促進に、新作ドリンクの見込み売上10%をブログ記事投稿広告にあてることを決定。

消費者A運営ブログ...読者は特にいない。個人的趣味による運営。

ブロガーが金銭等を得るためにエントリー投稿を行う場合

簡単な図式



基本的に消費者はエントリーというコンテンツをWebに提供することで、広告宣伝費としての対価を得る。

この際に重要となるのは消費者 = メディアであり、消費活動を行うと同時に販売促進活動に参加することにもなる。

簡単に言うと...

せっかくWebが誕生したおかげで、個人で気軽にアウトプットできる場が出来たんだから一消費者としても、企業の販売促進活動に参加してもいいんじゃないですか！！

という話でした。

もちろん課題はあると思います。

- ・インフルエンサーやアルファブロガーと一般ブロガーは選別されるべきではないか。
- ・広告表示すべきなのか。そもそも広告なのか。(アフィリエイトもそうですが)

等々。

本日色々ディスカッションさせていただければと存じます。

以上
